

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.5名古屋フィルハーモニー交響楽団
プレミアム・コンサート in 浜松

ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

S.ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲 Op.43

N.リムスキー=コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」Op.35



飯森 範親(指揮)



務川 慧悟(ピアノ)



松本 志のぶ(司会)

2024.11/4 [月・祝] アクトシティ浜松 大ホール

16:30 開演 (15:30 開場)

〒430-7790 静岡県浜松市中央区板屋町111-1

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円 | 有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

アイチケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:276-064]ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:41657]e+(イープラス) <https://eplus.jp>

アクトシティチケットセンター (店頭販売のみ/10:00~19:00)

HCFオンラインショップ <https://www.hcf.or.jp/shop/index.html>

オンラインコンサートチケットお取り扱い

カーテンコール <https://curtaincall.media> (購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストーリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。

アーカイブ配信

2024年11月5日(火)15:00~11月11日(月)23:59

公演内容に関するお問い合わせ

クラシック名古屋 052-678-5310 (11:00~16:00 土日祝休)

視聴方法に関するお問い合わせ

カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>

配信サイトはこちら

主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 特別協賛：ローム株式会社 協賛：ローム浜松株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念し、この活動をより広げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業で関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra (管弦楽)

名古屋を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く全国に話題を発信。“名(めい)フィル”の愛称で親しまれている。2023年川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。ほか現在の指揮者陣は、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)。2023年小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年ヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国の海外ツアーを実施。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在は年間約110の演奏会に出演。

公式ウェブサイト <https://www.nagoya-phil.or.jp/>



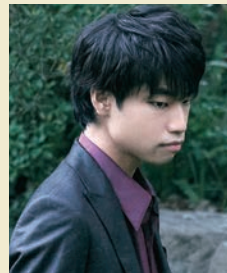
©山岸伸

飯森 範親 Norichika Iimori (指揮)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送交響楽団、ケルンWDR交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ放送交響楽団等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係の続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、2007年

より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、2022年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <https://iimori-norichika.com/>



©Yuji Ueno

務川 慧悟 Keigo Mukawa (ピアノ)

ローム ミュージック フレンズ<2015、2016年度奨学生>

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位受賞。2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位受賞。現在、日本、ヨーロッパを拠点にソロ、室内楽と幅広く演奏活動を行っている。バロックから現代曲までレパートリーは幅広く、各時代、作曲家それぞれの様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また現代ピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組んでいる。2022年、NOVA Recordより「ラヴェル:ピアノ作品全集」をリリース。

また、自身の編曲によるラヴェル「マ・メール・ロワ」ピアノソロ版の譜面をMuse Pressより出版している。

オフィシャル・ホームページ <https://keigomukawa.com/>



松本 志のぶ Shinobu Matsumoto (司会)

静岡県浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、日本テレビに入社。「24時間テレビ」総合司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC、「ズームイン朝」、五輪現地キャスターなどを務め、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。2009年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMCなども務め、また、テレビだけでなく、報知新聞「報知映画賞」選考委員や、クラシックコンサートの司会、子どものための読み聞かせコンサートでの朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。

朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。

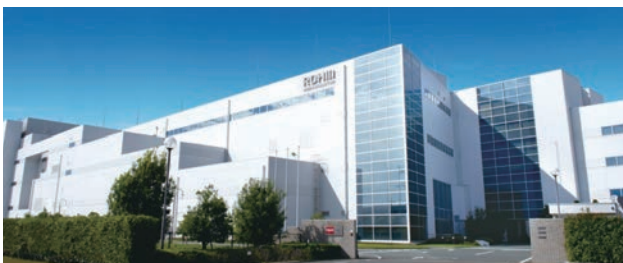


©Rowland Kirishima

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

ローム浜松株式会社



ローム浜松株式会社は、革新的な半導体で世界をリードする“ロームグループ”の旗艦工場として、1999年7月に設立されました。

それから四半世紀にわたり、ロームグループ最大規模の生産量を誇る半導体製造拠点として、人々の豊かな暮らしに貢献する半導体を、浜松の地から全世界に送り出しています。

ローム浜松の半導体は、自動車、産業機器、民生機器や通信機器に至るまで、あらゆる分野における国内外のトップメーカーに選ばれており、お客様の“省エネ”や“小型化”に寄与することで、社会課題の解決に貢献しています。

これからも、企業目的に掲げる“品質第一”の理念のもと、遠州・浜松の地に根付く“やらまいか精神”を発揮して、“最高品質のものづくり”を追求し続け、文化の進歩向上に貢献してまいります。